

大和樂 四季の花

作詞・作曲 芳賀 稔 作舞 若柳 吟

四季の花を春から順に並べて、その美しさを愛でていきます。

五人の群舞と変化に富んだ振付けと照明をお楽しみください。

花ならば春にさきがけ咲く花の 香を愛でる沈丁花 姿優しき

水仙花 鶯待ちわぶ梅の花 花ならば吉野三熊野桜 花五色ざくら

や八重桜 枝垂れ桜や仇ざくら 彼岸桜に 紅ざくら 卯の花匂う

八十八夜 つつじ椿やこぼれ山吹藤 紫陽花は紫色の色 香に迷う百

合花 いづれがあやめかきつばた 秋の七草咲き競う中にひときわ

美しく 咲くや桔梗おみなえし 風に尾花のゆらゆらと誰を待つ虫

鈴虫の 黄菊白菊乱れ菊や 野菊の笠や 小笠かざして 踊り風流

禿菊 長寿を祝う菊のさかづき 汲めども尽きじ吞めどもつきじ

狸々舞を舞おうよ 花と見まごう雪の散りしく しろがねの光輝き

野も山も眺めつきせじ 銀世界の色あでやかに咲く寒牡丹。